

## 最近の話題・トピックス

## 「アレルギー性鼻炎の最新の治療」

頭頸部外科耳鼻咽喉科 長谷川 泰久

この時期に増加する疾患として花粉症があります。多くの方が関心のある話題ですので、アレルギー性鼻炎の最新の治療法を今回とりあげることになりました。

アレルギー性鼻炎の治療法としては、1)抗原の除去回避、2)薬物療法、3)手術療法、4)特異的免疫療法(アレルゲン免疫療法)が行われています。この中で2014年より本邦で保険適応になったアレルゲン免疫療法(allergen immunotherapy)の一つである舌下免疫療法(sublingual immunotherapy: SLIT)が今回の話題です。

アレルゲン免疫療法はアレルギーの原因となる抗原を体内に摂取し、徐々に抗原に対する反応を弱めていく治療法で、長期寛解が期待出来る可能性があります。

これまでのこの治療法の経緯<sup>\*1</sup>をまとめますと、初めは皮下免疫療法(subcutaneous immunotherapy: SCIT)が行われ、1911年に Noon がイネ科花粉症での報告を行いました。本邦では、ハウスダストエキスが1963年に、1999年にはスギ標準化エキスでのSCITが開始されました。SCITは注射を行いますので、痛みがあり頻回の通院を必要とすることが課題でした。さらに、アナフィラキシーを含む副作用があることが懸念されました。

一方、口腔粘膜は好酸球、好塩基球、マスト細胞などの細胞が少なく、アナフィラキシー反応は起きにくいことが利点でした。また、SLITは基本的に内服治療ですので、安定すれば頻回の通院を要しないことも受け入れを容易にする要因となりました。

1986年に、ダニアレルゲンによるSLITが初めてヨーロッパで報告されました。本邦ではSLITの臨床試験が開始され、2014年にスギ花粉、2015年にはダニ抗原に対するSLITが保険適応となりました。

現在では表1<sup>\*2</sup>に示した薬剤を用いることが出来ますが、治療期間は長くて増量期(製品毎に異なる)の後、維持量の投与を一般的には3~5年行う必要があります。

今のところのSLITの適応<sup>\*3</sup>は、①スギ花粉またはダニが原因となるアレルギー性鼻炎患者、②一般的な薬物療法でアレルギー性鼻炎の症状やQOLを十分にコントロールできない患者、③アレルギー性鼻炎の臨床的寛解を希望する患者となります。一方、重症喘息を合併する患者は禁忌となり、β遮断薬を服用する患者や治療開始時に妊娠している患者は控えるべきとされています。

副作用<sup>\*4</sup>は口腔内・のどの症状、ぴりぴり感・違和感、口腔内腫脹、花粉症症状などがあり、一般にダニ抗原の方に副反応が強いようです。

SLITを行うためには、まず関連学会主催の講習会やe-ラーニングを受講し、さらに前述した製品毎に設けられたe-ラーニングをそれぞれ受講しなければなりません。テストに合格し、緊急搬送先医療機関名を登録すると処方が可能となります。SLITは、SCITと比較して全身性副反応の発生が少ないとはいえ、万一の際に対応できる体制は整えておかなければなりません<sup>\*3</sup>。

したがって、SLITの導入が可能な医療施設はある程度限られています。当院ですが、残念ながら開設後まだ間がなく準備ができていない状況です。

このアレルギー性鼻炎ですが、以前から気管支喘息の合併頻度が高いことが知られていました。それぞれ別の疾患として治療が行われてきましたが、アレルギー性鼻炎は上気道のみならず下気道にも影響を及ぼし、アレルギー性鼻炎合併喘息患者における喘息コントロール不良要因の一つであることが示唆されています。また、喘息患者の7割がアレルギー性鼻炎を合併していることがこれまでの研究から明らかになりました。

上・下気道の炎症を一つの病態として捉え、アレルギー性鼻炎と気管支喘息は一つの疾患群であるというone airway, one diseaseの概念<sup>\*5</sup>に基づき、診療を包括的に捉える考え方が最近の方向性です。

表1. 舌下免疫療法治療薬

	スギ花粉		ダニ	
	シダトレン <sup>®</sup>	シダキュア <sup>®</sup>	ミティキュア <sup>®</sup>	アシテア <sup>®</sup>
維持量	2,000JAU	5,000JAU	10,000JAU	300IR(57,000JAU)
剤型	液剤	錠剤(即溶錠)		
年齢制限	12歳以上	なし		
処方制限	なし	2週間制限 (2019年4月まで)	なし	

\*1.山田武千代. 舌下免疫療法の現状. 日耳鼻. 2018;121(7):934-6.

\*2.湯田厚司. アレルギー性鼻炎の舌下免疫療法~小児から成人まで、効果的に安全に行うためのポイント~ 日耳鼻. 2019;122:11-5.

\*3.日本アレルギー学会. アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法 2018.

\*4.湯田厚司, 小川由起子. 当院における500例以上の治療経験から考える舌下免疫療法の治療プランニング. 職業・環境アレルギー誌. 2018;25(2):63-9.

\*5.朝子幹也. One airway, one diseaseに基づく診療の実際~アレルギー性鼻炎合併気管支喘息に対する耳鼻咽喉科診療のあり方~. 鼻アレルギーフロンティア. 2018;18(2):46(104)-49(7).



# 診療医ご案内



(平成31年2月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金	土
消化器内科	初診	安田(由)/中畑	八木	八木	尾松	北江 (非常勤)	担当医
	予約診	小島	大洞	小島	中畑	安田(剛)	—
	予約診	八木	林	尾松	北江 (非常勤)	福田	—
循環器内科		瀬川	藤井 (非常勤)	瀬川	瀬川/伏屋	次田	土井 (心臓血管外科) (月1回不定期)
		田中(新) 田中(隆)(午後)	伏屋	田中(新)	渡辺 (非常勤2・4週)	瀬川	担当医
腎臓内科		大橋(宏)	大野	大橋(宏)	操	大野	大橋(宏)
総合内科		大橋(宏)	大野	大橋(宏)	操	大野	大橋(宏)
糖尿病・内分泌内科		佐々木	武田	梶浦	杉本	杉本	武田
		杉本/梶浦	杉本	佐々木	佐々木/梶浦	武田	佐々木
呼吸器内科		豊吉	舟口	柳瀬 (非常勤)	舟口	豊吉	豊吉
外科		久米	市川	久米	太和田	太和田	担当医
		操	—	—	—	市川	—
乳腺外科	1診	川口	名和	川口	名和	川口 (2・4週目)	担当医 (予約診のみ)
	2診	—	川口	名和	川口	名和	
脳神経外科		石澤	郭	岡	石澤	担当医	郭
		岡	安田(祥)	加納	安田(祥)	—	加納/山田
整形外科	初診	河合・足立	川島(至)	塚田/山賀 (2・4週目)	青芝	前田	担当医
	予約診	—	塚田	前田	河合	大友	—
	予約診	青芝	今泉	日下	川島(至)	日下 中島(午後)	今泉 (第1週)
	予約診	—	—	足立	塚原	今泉	塚原 (第2週)
眼科	1診	野村 (非常勤)	関戸 (非常勤)	奥村 (非常勤)	—	奥村 (非常勤)	—
	2診	—	矢田	矢田	矢田	矢田	—
泌尿器科		江原	土屋 (非常勤)	江原	江原	江原	—
婦人科	1診	藤本	川島(英) (嘱託医)	川島(英) (嘱託医)	藤本	藤本	藤本 (不定期)
	2診	川島(英) (嘱託医)	藤本 (不定期)	—	川島(英) (嘱託医)	川島(英) (嘱託医)	—
放射線治療科		田中(修)	—	田中(修)	田中(修)	田中(修)	—
頭頸部外科	初診	長谷川	長谷川	非常勤	長谷川	長谷川	—
歯科・口腔外科		村松 長縄/大橋	本橋/高橋 大橋(静)	中島/長縄 山岡	齋藤/高橋 大橋(静)	山岡・本橋 大橋(静)	担当医

[ご案内] ●診療受付時間は、全科8:00～11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)  
●年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。